



新火葬場建設事業

奥戸 幸次

問 火葬場用地の問題を私なりに総括すると、町内会から応募のあった提出書類に問題があり、地域住民の声、地権者の声に十分沿ったものではなく、それを裏付ける形で反対の立場に立った方がいるというのが事実である。前市長は「最終的な決定は、当然地域の皆さんのご理解を頂かなければ進められないと考えています」と答弁している。志賀下塩ノ入地区予定地の行政側の今後の対応をどのように考えているか。

市長 まず、新火葬場建設に当たりご応募いただきました地域の皆さん、志賀地区の皆さんには大変ありがたいということを申し上げたいと思います。しかし、もとより公共施設は、地元の共存関係が不可欠です。従いまして、建設候補地の住民の皆さまには、事業について丁寧の説明申し上げ、ご意見を頂戴し、協力を頂きながら進めていくこと。このことについては、前市長が申し上げた通り、いささかも変わるところはありません。

地権者と向き合う姿勢は

問 強引に大方賛成だから進められる事案ではない。近接する地域住民、地権者の方々から100%の同意を得ないうちには踏み込まないのではないかと。とりわけ近接する地域住民の声、地権者の声、そこ向き合う姿勢について伺う。

市長 市の立場として申し上げますと、これまで地域に入って説明する機会がなかったということも進まない要因かもしれません。まだ場所の具体的な特定も説明していませんし、面積、地権者、それぞれまだ不明確な中で、まずもって、我々がつくろうとする新火葬場の概要を、まず説明させていただきたい。その時点から、まだお話ししていないものですか、しっかりと向き合って、どんなものを、それから住民にどういう影響が出るのかをしっかりと説明させていただきながら進めていきたいと思えます。

◎その他の一般質問
・少子高齢化社会への対応

一問一答方式による一般質問



優良田園住宅の建設の促進に関する基本方針の策定

飯塚 悦男

問 優良田園住宅の建設の促進に関する法律(国土交通省・農林水産省の共管法)は、高齢化の進展、耕作放棄地の増大等の課題を抱える農村地域にとって田園住環境の形成を通じて、都市住民との交流等で新たな地域づくりの可能性を広げられる。市町村が主体的に取り組むスキームになっており、岩沼市においても基本方針を策定してはどうか。

市長 市全域を都市計画区域として指定しており、市街化区域、市街化調整区域と区分して土地利用を図っており、今の時点では難しいと考えます。

優良田園住宅検討しては

問 地域を活性化するという視点から、市街化調整区域内に優良田園住宅を今後検討してはどうか。

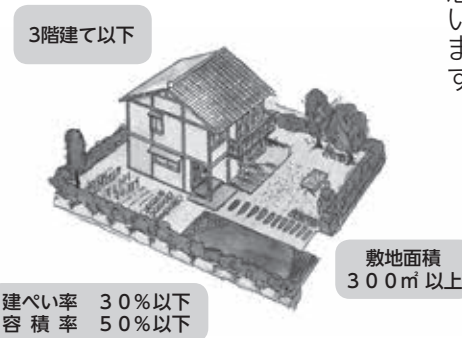
市長 国、県との協議の場も必要であり、集落、環境の問題もあることから、簡単に宅地政策を進められないと思えます。

問 地域と調和し、自然を守るといふことがこの基本方針であり、限界集落・人口減少の問題からも考えられないか。

市長 国の考え、推移を見ながら検討していきたいと思えます。

問 志賀地区は自然豊かな地域であり、岩沼の大きな財産である。自然環境の保全、調和を図り、都市計画や農業政策との融合を図りながら地域づくりのモデルとして志賀地区に優良田園住宅を建設してはどうか。

市長 志賀地区の意向を聞いていない中で回答するのは難しいと考えます。地域の特性を考えて環境を大事に保全していただきたいと思えます。



優良田園住宅の要件